

## 東北特急60周年記念行事の御知らせ

平成30年9月18日

みちのく鉄道応援団・仙台蒸気機関車C601保存会

東北線に初めて特急列車『はつかり』が設定されたのは昭和33年(1958)10月、それから当年は60年となります。

当時、国鉄路線で特急列車は東海道本線や山陽本線だけのものでしたが、東北筋にも特急列車の要望が強かったことから、それ応えて上野青森間にも特急列車が設定され、『はつかり』と命名されました。所要時間は12時間、それでもそれまでの最速列車だった急行よりもぐっと速い列車でした。

現在では東京新青森間が3時間余であることに比べれば隔世の感が有りますが、現在の最速列車の系譜を遡れば、『はつかり』に行き当たります。この『はつかり』、当初は蒸気機関車牽引でしたが、以後速度向上が為され所要時間が11時間半となり、列車形態も気動車、電車となり、列車の性能や設備も改善され、且つ線路等も昭和43年東北本線全線複線化等の改良が重ねられ、今日の新幹線に発展したことに思い致せば、その歴史的意義は大きなものであり、我が国の鉄道史に刻まれる列車です。

そこで、当会は仙台蒸気機関車C601保存会及び関係諸団体と協力し、この東北初の特急『はつかり』を牽引した機関車であるC601に就いて、『はつかり』の列車愛称板を掲出し、東北特急60周年を祝うと共に、現下の超高速鉄道まで御尽力あった方々への感謝の念を表すべく、下記行事を行います。

- ・時： 平成30年10月13日(土)及び14日(日)11:00から15:00まで
- ・所： 仙台市西公園 C601 (国鉄蒸気機関車C60形1号)
- ・内容： 当時使用された実物の列車愛称板『はつかり』を使用し、これをC601の先頭部分に掲出し、記念撮影等を行う。

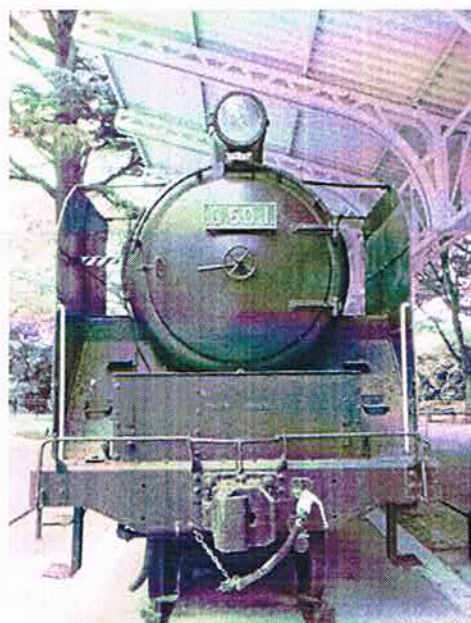
御参考：昭和33年登場『はつかり』の牽引機関車

上野－仙台：C62、仙台－盛岡：C61、盛岡－青森：C60+C61（勾配のため補助機関車を増結）

御協力：仙台市、仙台市青葉区、東北福祉大学鉄道交流ステーション



『はつかり』の先頭に立つC601号 青森駅  
写真：樋口慶一様御提供



仙台西公園に保存されているC601